

理学療法

理学療法とは病気やけがなどで不自由になった方々に対して基本的な動作（寝返る、起きる、立ち上がる、歩くなど）の回復、維持をはかる治療法です。大きく分けて運動療法と物理療法、動作訓練があります。治療によりより自立した生活が送れるよう支援をし、退院に向けては日常生活動作の指導、装具の利用、家屋評価を行い在宅調整やご家族に介護指導を行っていきます。

当院では脳血管障害、整形外科疾患の患者様に対して徒手療法や、装具療法、物理療法（FES：機能的電気刺激など）、足底板療法などを使用し治療を行っています。

装具療法



FES



足底板の作成



外来では足底板外来を開設し外来患者様にもインソールの作成を行っています。

呼吸器疾患、循環器疾患の患者様へはSpO2モニターや、モニター心電図を使用しリスク管理を行いながら、運動療法を行っています。呼吸器疾患などで痰が上手く出せない方にはカフマシーンを使用し咳を機械的に介助しながら出す練習を行います。

モニター心電図



カフマシーン



呼吸器疾患の患者様には集団で行う呼吸体操やエルゴメーターを使用した有酸素運動も運動療法として実施しています。

エルゴメーター



呼吸体操



呼吸器外来にて慢性期における呼吸器疾患のリハビリにも対応しております。